

■ 渥美奨学生2001年度著作・発表論文リスト

■ Abliz Yimit アブリズ イミテ (横浜国立大学大学院<人工環境システム> : 2002年度奨学生)

1. Abliz Yimit, K. Itoh, Z-M. Qi, M. Murabayashi, Fabrication of a new composite optical waveguide based on polytungstic acid thin film, ELECTROCHEMISTRY, 69, 182-186 (2001). (in Japanese)
2. Z-M. Qi, K. Itoh, M. Murabayashi, Abliz Yimit, H. Yanagi, Application of a composite optical waveguide using peroxopolytungstic acid films, J. ELECTROCHEMICAL SOCIETY, 147, 3940-3943(2000)

■ Borjigin, Burensain ボルジギン、ブレンサイン (早稲田大学・博士<東洋史> : 日本学術振興会外国人特別研究員 / 早稲田大学モンゴル研究所客員研究員 : 2001年度奨学生)

1. 「九世パンチェン=エルゲニの東部内モンゴル歴訪と奉天当局の対応—モンゴル、チベット、中国三者関係の構造をめぐる事例研究として—」, 『日本モンゴル学会紀要』 No.31 (45—67頁) ,2001/4
2. 「モンゴル：遊牧と都会の間を彷徨う人々—ウランバートル周辺の遊牧民に対する調査報告—」, 『ビオシティー』 20号 (104—107頁) , 2001/4
3. 「定住—村落形成と内モンゴルの沙漠化—ホルチン地域を事例に—」, 『沙漠研究』 VOL.11 NO.1 2001(13—22頁) , 2001/7
4. 「内モンゴル王公が提唱した『蒙古殖業銀行股芸有限公司』に関する档案資料」, 『近現代東北アジア地域史研究会 NEWS LETTER』 第13号 (63—71頁) , 2001/12
5. 「遼北荒の開墾問題とガーダー・メイリンの蜂起」, 『早稲田大学大学院文学研究科紀要』 第47輯 第4分冊 (17—31頁) , 2002/3

■ Cao Bo 曹 波 (早稲田大学・博士<建設工学> : NTT データクリエイション株式会社 / 北京 NTTDATA : 1998年度奨学生)

1. 「図による推論を考慮した建築の空間構成の記述方法および類似事例検索への適用」 日本建築学会計画系論文集, No.531, 2000.5, p271-276

■ Chen Tzu-Ching 陳 姿菁 (お茶の水女子大学大学院<国際日本学> : 2002年度奨学生)

1. 「日本語の談話におけるあいづちの種類とその仕組み」 『日本語教育』 108号, 24—33, (2001)

■ Cho Gyu-Hwan 曹 奎煥 (早稲田大学大学院<環境資源理工学> : 2002年度奨学生)

原著論文 :

1. Cho, K.-H., Takagi, H., Iwamura, A., Awaji, D., Chang, T.W., Shon, S.W., Itaya, T. and Okada, T., Timing of the hydrothermal alteration associated with the fault activities along the Ulsan Fault, southeast Korea. *Economic and Environmental Geology*. 34, 583-593 (2001)

学会発表論文 :

2. Cho, K.-H., Evidence of strain localization in a lower-to midcrustal shear zone (Korea). *Geological Society of America*, P-A147, Boston, America (2001)
3. Cho, K.-H., Strain localization in the Sunchang shear zone, Korea. The third joint meeting of Japanese and Korean Structure and Tectonic Research Groups, Daejeon, Korea, 37-38 (2001)
4. Cho, K.-H. The Sunchang shear zone (Korea) and its tectonic correlation in East Asia: structural and chronological constraints. *Deformation Mechanisms, Rheology & Tectonics*, Noordwijkerhout, Netherlands, 40 (2001)
5. Iwamura, A., Awaji, D., Takagi, H., Cho, K.-H., Chang, T.W., Shon, S.W., Itaya, T. Okada, T., K-Ar dating of fault gouges from major active faults from Japan and Korea. The third joint meeting of Japanese and Korean Structure

and Tectonic Research Groups , Daejeon, Korea, 12, 122-124 (2001)

6. 淡路動太・岩村陽・高木秀雄・曹 奎煥・岡田利典・板谷徹丸, 断層ガウジ中の雲母粘土鉱物における K-Ar 年代の意義と問題点, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同学会 Gr-003, 代々木 (2001)
7. 岩村陽・淡路動太・高木秀雄・曹 奎煥・板谷徹丸・岡田利典・張泰雨, 2001, 断層ガウジの K-Ar 年代測定—問題点と今後の展望—, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨 P-175, 金沢 (2001)

■ **Fan Jianting 範 建亭** (一橋大学大学院<国際経済学> : 2001 年度奨学生)

投稿論文 :

1. 「日中貿易の発展」『月刊 経営労働』第 36 巻第 413 号 2001/5
2. 「中国の外資主導型貿易発展(1)(2)」『月刊 経営労働』第 36 巻第 414 号～415 号,2001/6～7
3. 「直接投資を通じた技術移転—中国に進出した日系企業の実態調査から」『アジア経済』第 42 巻第 7 号, 2001/7
4. 「成長する中国の家電産業(1)(2)(3)」『月刊 経営労働』,第 36 巻第 418 号,第 37 巻第 420 号～第 37 巻第 421 号 (2001/102001/12～2002/1)

訳書 :

5. 山澤逸平著『亜州太平洋経済論 : 21 世紀 APEC 行動計画建議』(共訳) 上海人民出版社,2001/5

■ **Gao Weijun 高 偉俊** (早稲田大学・博士<建設工学> : 北九州市立大学国際環境工学部環境空間デザイン学科助教授 / 早稲田大学理工学総合研究センター九州客員助教授 : 1995 年度奨学生)

1. 審査論文: "Energy Consumption and its Impacts on Environment in Shanghai, China", Vol.1 No1. March,2002, Journal of Asian Architecture and Building Engineering.,p151-156,高偉俊、Weiding Long、Jianxing Ren、尾島俊雄
2. 審査論文: "Study on the Effectiveness of Installation of Ice Storage System in Residential House" Vol.1 No1. March 2002, Journal of Asian Architecture and Building Engineering. p113-118, 許雷、高偉俊、八木崇、尾島俊雄
3. 審査論文: 事務所建築における空調設備の保全費予測と更新時期の評価手法に関する研究, 2001/06, 日本建築学会計画系論文集第 537 号、原英嗣、高偉俊、尾島俊雄
4. 審査論文: Energy Impacts of Recycling Disassembly Material In Residential Buildings,Elsevier Science Publishing,Energy and Buildings , 2001/6, 高偉俊、有山広高、尾島俊雄、アランメイエア
5. 講演論文: 住宅における成層空調システムの導入とその効果に関する実測研究, 2002/3, 日本建築学会関東支部研究報告集、東京、許雷、高偉俊、尾島俊雄
6. 講演論文: オフィスビルのエネルギー消費変化に対応したエネルギーシステムの検討, 2002/3, 日本建築学会関東支部研究報告集、東京、安岡善朋、菊池正則、李海峰、高偉俊、田中俊彦、尾島俊雄、
7. 講演論文: 新宿地域における既存地域冷暖房のネットワーク化の可能性に関する研究, 2002/3, 日本建築学会関東支部研究報告集、東京、片山良治、大森裕子、菊池正則、韋新東、李海峰、高偉俊、尾島俊雄
8. 講演論文: 中国における地域熱供給の現状に関する考察,2002/3,日本建築学会関東支部研究報告集、東京、韋新東、尹軍、高偉俊、李海峰、尾島俊雄
9. 講演論文: 成層空調システムの性能評価のための実測調査,2002/3,日本建築学会九州支部研究報告集、東京、永末剛、依田浩敏、許雷、高偉俊、尾島俊雄
10. 講演論文: 九州地区におけるコージェネレーションシステムの導入現状に関する調査, 2002/3, 日本建築学会九州支部研究報告集、東京、宮内隆夫、韋新東、西田勝、周南、高偉俊、相楽典泰、龍有二、尾島俊雄
11. 講演論文: 北九州学術研究都市における地域エネルギーシステムの夏季運転効果に関する調査, 2002/3, 日本建築学会九州支部研究報告集、東京、吉田大志、韋新東、西田勝、周南、高偉俊、相楽典泰、龍有二、尾島俊雄
12. 講演論文: 北九州市における G I S を用いたゴミ・下水エネルギーデータベースの作成, 2002/3, 日本建築学会九州支部研究報告集、東京、西野僚、深堀秀敏、西田勝、周南、高偉俊、尾島俊雄
13. 講演: ダブルスキン空間における中間期の温熱環境に関する実測調査, 2002/3, 日本建築学会九州支部研究報告集、東京、手島敬介、依田浩敏、許雷、高偉俊、尾島俊雄
14. 講演論文: 住宅における氷蓄熱空調機の性能評価のための実測調査, 2002/3, 日本建築学会九州支部研究報告集、東

京、後藤雄二、依田浩敏、許雷、高偉俊、尾島俊雄

15. 講演論文: 東京駅周辺地区の新規熱供給地域における熱供給システムの導入効果に関する検討,その 1 コージェネレーションシステムの導入効果, 2002/3, 日本建築学会九州支部研究報告集、東京、韋新東、尹軍、高偉俊、李海峰、尾島俊雄
16. 講演論文: 東京駅周辺地区の新規熱供給地域における熱供給システムの導入効果に関する検討,その 2 熱供給事業のネットワーク化の効果, 2002/3, 日本建築学会九州支部研究報告集、東京、高偉俊、韋新東、尹軍、李海峰、尾島俊雄
17. 講演論文: アジア都市環境の改善策に関するアンケート調査, 2001/09/01, 日本建築学会全国大会論文集 D-1 分冊, p.703 菊池正則、李海峰、高偉俊、尾島俊雄
18. 講演論文: 省エネルギー性・環境性からみた既存地域冷暖房の可能な供給範囲に関する研究,その 2 東京 23 区における考察, 2001.9, 日本建築学会全国大会論文集、東京、李海峰、韋新東、尹軍、高橋信之、高偉俊、尾島俊雄
19. 講演論文: 省エネルギー性・環境性からみた既存地域冷暖房の可能な供給範囲に関する研究,その 1 余剰能力を活用するための評価方法, 2001.9, 日本建築学会全国大会論文集、東京、韋新東、李海峰、尹軍、高橋信之、高偉俊、尾島俊雄
20. 講演論文: EU における分散電源による地域熱供給の現状に関する考察, 2001.9, 日本建築学会全国大会論文集、東京、高偉俊、趙鵬林、李海峰、尾島俊雄
21. 講演論文: 住宅における氷蓄熱式空調システムの有効性に関する研究,その 1 住宅用氷蓄熱式空調システムの提案, 2001.9, 日本建築学会全国大会論文集、東京、許雷、八木崇、高偉俊、尾島俊雄
22. 講演論文: 住宅における氷蓄熱式空調システムの有効性に関する研究,その 2 エネルギー面における予測評価, 2001.9, 日本建築学会全国大会論文集、東京、八木崇、許雷、高偉俊、尾島俊雄

■ **Hou Yankun 侯 延琨** (東京工業大学・博士<物理電子化学> : American Chemistry Society 研究員 : 1999 年度奨学生)

Article :

1. Synthesis, Radiolabeling And Preliminary Evaluation of 2β -Carbomethoxy- 3β -(3'-methoxy-pyridyl) tropane, A Potential Radioligand For The Serotonin Transporter. Yankun Hou, Xin Fu, Mohammed Al-Tikriti, Sudar Garg, Aruna Korde, Ronald M. Baldwin, Juile K. Staley, Robert B. Innis, John P. Seibyl, Robert J. Baldessarini, Pradeep K. Garg and Gilles D. Tamagnan Journal of Labeled Compounds and Radiopharmaceuticals, 2001. 44,185.

Presentation :

2. Pet Imaging of N-(3-[^{18}F]Fluoropropyl)- 2β -carbomethoxy- 3β -(4-bromophenyl)nortropane in Baboon R.M. Baldwin, T. Chaly, G. Tamagnan, J. K. Staley, Y. Hou, X-H. Gu, R. Zong, R. J. Baldessarini, J. L. Neumeyer, P. Garg The Society for Nuclear Medicine 49th Annual Meeting, Los Angeles, June, 2002.
3. N-[^{14}C] Methyl 2α -Carbomethoxy- 3α -(3'-methoxy-pyridyl) phenyltropane: Synthesis and Biological Evaluation. Y. Hou, M. Al-tikriti, X. Fu, N. S. Kula, J. P. Seibyl, R.B. Innis, R. Baldessarini, R. M. Baldwin, G. Tamagnan and P. K. Garg The Society for Nuclear Medicine 49th Annual Meeting, Los Angeles, June, 2002.
4. The effect of Estrogen on Brain Serotonin 2A Receptors Measured by PET in Postmenopausal Women. Akira Kugaya, Nancy C. Epperson, Yankun Hou, Chrisy H. van Dyck, Masahiro Fujita; Julie K. Staley; Pradeep K. Garg; John P. Seibyl; Robert B. Innis; the Society for Neuroscience 31st Annual Meeting, San Diego, November, 2001.

■ **Hu Bingqun 胡 炳群** (日本工業大学大学院<システム工学> : 2002 年度奨学生)

学会発表論文 :

1. 胡炳群、保田亮、宍戸善明、岩井学、鈴木清、植松哲太郎、田中克敏、砥石反転研削法のための研削条件、砥粒加工学会講演論文集、(200109)、p283-286
2. 胡炳群、藤原将之、宍戸善明、三代祥二、鈴木清、岩井学、植松哲太郎、清水伸二、メガソニッククーラントを利用した加工(第 1 報 : ガラス研削における超音波周波数の影響)、砥粒加工学会講演論文集、(200109)、p43-46
3. 三代祥二、胡炳群、中山淳史、宍戸善明、鈴木清、植松哲太郎、清水伸二、メガソニッククーラントを利用した加工(第 2 報 : 振動伝達特性に及ぼす超音波周波数の影響)、砥粒加工学会講演論文集、(200109)、p47-48

4. 宍戸善明、鈴木清、三代祥二、胡炳群、上村幸司、植松哲太郎、田中克敏、超音波加工用偏芯たて振動子の開発、砥粒加工学会講演論文集、(200109)、p39-42
 5. 岩井学、上剛史、森木徹、胡炳群、鈴木清、植松哲太郎、CBN工具による焼入れ鋼の切削加工(第2報:衝撃吸収ホルダの試作とその効果)、砥粒加工学会講演論文集、(200109)、p229-232
 6. 胡炳群、宍戸善明、鈴木清、植松哲太郎、CBN工具による焼入れ鋼の切削加工(第3報:高CBN含有チップのフライス切削特性)、砥粒加工学会講演論文集、(200109)、p233-234
 7. 宍戸善明、三代祥二、胡炳群、鈴木清、植松哲太郎、FEMによる超音波加工用振動子の設計(第2報:超音波偏芯たて振動子の加工特性)、精密工学会秋季大会講演論文集、(200109)、p33
 8. 胡炳群、宍戸善明、涉健一、鈴木清、植松哲太郎、焼入れ鋼のCBN切削に関する研究(第5報:微粒子CBN工具によるフライス切削)、精密工学会秋季大会講演論文集、(200109)、pk82
 9. 三代祥二、胡炳群、上村幸司、鈴木清、岩井学、植松哲太郎、田中克敏、60kHz偏心振動子による切削加工の試み、精密工学会春季大会講演論文集、(200203)、pm591
 10. 三代祥二、胡炳群、田口建介、宍戸善明、鈴木清、今井智康、植松哲太郎、3倍波共振を利用した60kHzねじり振動工具の提案、精密工学会春季大会講演論文集、(200203)、pm595
 11. 胡炳群、藤原将之、宍戸善明、三代祥二、鈴木清、植松哲太郎、清水伸二、メガソニッククーラントの除去加工への適用(第6報:溝入れ研削における超音波周波数の影響)、精密工学会春季大会講演論文集、(200203)、pm596
 12. 胡炳群、保田亮、宍戸善明、三代祥二、鈴木清、植松哲太郎、清水伸二、メガソニッククーラントの除去加工への適用(第7報:平面研削における研削方向の影響)、精密工学会春季大会講演論文集、(200203)、pm597
 13. 胡炳群、中山淳史、三代祥二、宍戸善明、鈴木清、清水伸二、今井智康、植松哲太郎、メガソニッククーラントの除去加工への適用(第8報:振動伝達特性と間隙への浸入特性)、精密工学会春季大会講演論文集、(200203)、pm598
- 国際学会 Congress 発表論文:
14. K.Suzuki, Hu.Bing.Qun, Y.Shishido, T.Uematsu, M.Iwai, T.Kami, S.Shimizu, K.Tanaka, Application of Megasonic Coolant for High Performance Precision Grinding, (200105), pDM17
 15. Hu.Bing.Qun, K.Suzuki, M.Iwai, T.Uematsu, K.Tanaka, Improvement of Grinding Performance by Repetitive CW/CCW Wheel Rotation Method, (200105), pDM18
 16. T.Uematsu, M.Iwai, T.Funazawa, K.Suzuki, Hu.Bing.Qun, K.Takeuchi, K.Syoda, Formation of Micro Profile on Diamond Grinding Wheels for Micro Dies and Molds by On-Machine Electrodischarge Trueing Method, (200105), pDM55
 17. Hu.Bing.Qun, K.Suzuki, T.Uematsu, M.Iwai, T.Kami, S.Shimizu, K.Tanaka, Effect of megasonic coolant in grinding of glass, ISSAAT2001, (200111), pp.364~369
 18. Hu.Bing.Qun, K.Suzuki, S.Misiro, Y.Sisido, T.Uematsu, M.Iwai, Development of an eccentric longitudinal vibrator for ultrasonic machining, ISSAAT2001, (200111) pp.370~375
- 学会誌投稿論文:
19. 胡炳群、宍戸善明、三代祥二、鈴木清、植松哲太郎、田中克敏、超音波加工用偏芯たて振動子の開発、砥粒加工学会誌(砥粒加工学会)Vol.46, No.2, (2002) pp.94~97

■ Jeon Jin Hwan 全 振煥(東京工業大学・博士<環境理工学創造>:鹿島建設株式会社技術研究所研究員:2001年度奨学生)

審査付き論文:

1. 田中享二、全 振煥、名和豊春、橋田 浩:初期養生条件がモルタルの疲労およびそれに起因する耐久性低下に及ぼす影響、日本建築学会構造系論文集,2001.10,No.548,pp.9-14
2. K. Tanaka, E. Kagawa, J. H. Jeon, and H. Miyach: Development of Damage Test Apparatus by Traffic for Car Deck Waterproofing Membrane Systems, 9th International conference on durability of building materials and components, March 17-20, 2002, Brisbane, Australia.

学会発表論文:

3. 全 振煥、田中享二、南 宰絃：ゴンペルツ曲線を用いた疲労をモルタルとコンクリートの疲労度の評価,大韓建築学会秋季学術大会論文集, 2001. 4, 第21巻1号, pp.297-300
4. 全 振煥、田中享二、南 宰絃：初期養生条件が疲労を受けたモルタルの細孔構造と中性化の変化に及ぼす影響, 韓国コンクリート学会春季学術大会論文集, 2001. 5, pp.286-291
5. 全 振煥、篠原保二、田中享二：疲労を受けるモルタルのAE特性による損傷の検討,日本建築学会大会学術講演梗概集 [A], 東京, 2001, pp.371-372
6. 全 振煥、宮内博之、田中享二：繰り返し曲げ荷重を受けるモルタルのAE法による損傷の検討, 日本建築学会関東支部研究発表会,東京, 2002. 3, pp.371-372

■ **Jiang Huiling 蒋 惠玲** (横浜国立大学・博士<電子情報工学>：(株)NTT ドコモ無線ネットワーク開発部研究員：2001年度奨学生)

1. H. Jiang, H. Arai, "FDTD Simulation for Small Antenna Geometries by Using Non-Uniform Mesh Algorithm", Proceedings of Eleventh International Conference on Antennas and Propagation, Vol. 2, pp.408-411, April 2001, Manchester, U.K.
2. H. Jiang, H. Arai and Y. Ebine, "Antenna-Radome Interaction of 2GHz Band 120 degrees Beam Antenna", 2001 IEEE Antennas and Propagation Society International Symposium, Vol. 3, pp.66-69, July 2001, Boston, USA.
3. H. Jiang and H. Arai, "Optimization of Matching Structure for Top Loaded Monopole Antenna", 2001 Society Conference of IEICE, B-1-100, September 2001, Tokyo.
4. H. Jiang and H. Arai, "Circular Polarized Patch Antenna with Cross-shaped Slit", 2002 General Conference of IEICE, B-1-90, March 2002, Tokyo.

■ **Jie Chi Yang 楊 接期** (東京工業大学・博士<教育工学>：国立中央大学資訊工程系助理教授：1999年度奨学生)

1. Yang, J. C. (2001). Using 'EduClick' in Language Teaching and Learning(keynote speech). In Proceedings of the Fifth International Conference on Multimedia Language Education (ROCMELIA2001). Taipei,Taiwan. pp.145-152
2. Wang, C. T., Chang, L. J., Yang, J. C., Chan, T. W. (2001). Exploring the Design of Computer Supported Question-and- Answering Competitions Exercise Game. In Proceedings of the 5th Global Chinese Conference on Computers in Education (GCCCE 2001). Chung-Li, Taiwan. pp.849-856
3. Wang, S. H., Yang, J. C., Ho, C. W., Chan, T. W. (2001). Development of a Web-based Learning Environment Using Goal Setting Theory – An Example of Reading Website. In Proceedings of the 5th Global Chinese Conference on Computers in Education (GCCCE 2001). Chung-Li, Taiwan.pp.748-755
4. Huang, C. J., Chou, C. Y., Yang, J. C., Chan, T. W. (2001). A Case Study of Collaborative Learning in a Distant Observation Environment. In Proceedings of the 5th Global Chinese Conference on Computers in Education (GCCCE 2001). Chung-Li, Taiwan. pp.239-242
5. Chang, L. J., Yang, J. C., Wang, C. T., Yu, F. Y. and Chan, T. W., (2001). The Design of Multiple Competitive Activities in a Synchronous Question-Answering Game System. In Proceedings of the 10th International Conference on Artificial Intelligence in Education (AI-ED 2001). San Antonio, Texas, USA. pp.539-541
6. Yang, J. C. and Akahori, K. (2001). Development and Evaluation of a CALL System for Japanese Writing using NLP techniques on the WWW. In Proceedings of the Workshop "Computer Assisted Language Learning -Implementing Intelligent Language Tutoring Systems" of AI-ED 2001. San Antonio, Texas, USA. pp.9-16

■ **Jin Xianghai 金 香海** (中央大学・博士<政治学>：中央大学社会科学研究所研究員：2001年度奨学生)

論文：

1. 「中国のAPEC政策—WTO加盟との関連から—」『中央大学社会科学研究所報告書』第22号,中央大学社会科学研究所,2001
2. 「中国の対外経済政策の一考察」『大学院研究年報』第31号,中央大学,2002

研究発表論文：

3. 「中国のWTO加盟における政治経済要因」中央大学国際関係研究会,2001/7/7

■ **Jung Sung Chun 鄭 成春** (一橋大学大・博士<経済学>：鳥取環境大学環境政策学科専任講師：2000年度奨学生)

1. 米国酸性雨プログラムに関する一考察—Allowance の私的取引形態の構造分析を中心に—、『Discussion Paper Series』(一橋大学) No. 2001-08、2001/8
2. 環境問題への権利論アプローチの意義と課題—Dales と Mishan の比較を中心に—、『一橋論叢』(一橋大学) 第126巻第6号、2001/12
3. 自然環境保全的土地政策の法経済学的研究—4カ国の比較制度分析—、博士学位論文(一橋大学)、2001/7

■ **Kostov, Vlaho コストブ、ブラホ** (東京都立科学技術大学・博士<工学システム>：東京都立科学技術大学客員研究員：2001年度奨学生)

学術論文 Journals and Books：

1. V. Kostov, S. Fukuda, “Emotional Coding of Motion Using Electromagnetic 3D Tracking Instruments”, Applied Electromagnetics, Material Science and Devices, Edited by K. Yamada, A. Krawczyk, H. Tsuboi, I. Vajda, T. Honma, A. Gottvald, J. Slama, H. Yamashita, I. Marinova and L. Grcev, pp.229-235, The Japan Society of Applied Electromagnetics and Mechanics, JSAEM Studies in Applied Electromagnetic and Mechanics, Vol. 9 (in press).
2. V. Kostov, H. Yanagisawa, M. Johansson, S. Fukuda, “Method for Face-Emotion Retrieval Using A Cartoon Emotional Expression Approach”, pp.515-526, JSME Int. Journal, Series C, Vol. 44, No. 2, 2001.
3. V. Kostov, S. Fukuda, M. Johansson, “Method for Simple Extraction of Paralinguistic Features in Human Face”, pp.111-125, Imaging & Visual Computing, The Journal of the IIEEJ, Institute of Image Electronics Engineers of Japan, Vol. 30, No2, 2001.
4. H. Yanagisawa, V. Kostov, S. Fukuda, “Development of Industrial Design Support System Using Impression Words (With Attention Paid to Diversity of KANSEI)”, pp.464-470, JSME Journal, Series C, Vol. 067, No. 657, 2001-5, 2001 (in Japanese).
5. T. Kikuchi, H. Yanagisawa, N. Aoki, A. Fukuzaki, V. Kostov, F. Konishi, S. Fukuda, “A Trial of Global Team-Based Product Design Education Project-based learning with industry sponsored "Real world projects"”, pp.210-218, JSISE Journal, Japanese Society for Information and Systems in Education, Vol.18, No. 2, 2001, (in Japanese).
6. V. Kostov, S. Fukuda, “Man-Machine Emotional Communication utilizing CAFEM model”, Knowledge-Based Intelligent Information Engineering Systems & Allied Technologies, Series: Frontiers in AI and Applications, Edited by N. Baba, C. Jain, R. J. Howlett, pp.1204-1211, Vol.69, IOS Press, Amsterdam, 2001.

国際学会論文 Reviewed Conference Publications (in Proceedings)：

7. V. Kostov, S. Fukuda, “Towards Computer-mediated Agile Emotional Communication”, SCI 2001, The 5th World Multi-Conference on Systemics, Cybernetics and Informatics, Jul. 2001, IIS, Vol. VIII, pp.445-450, Orlando, USA.
8. V. Kostov, S. Fukuda, “Development of Man-Machine Interfaces based on User Preferences”, IEEE CCA/ISIC 2001, 2001 IEEE Conference on Control Applications & Intl. Symposium on Intelligent Control, Mexico City, Sept., 2001 (in press).
9. S. Fukuda, V. Kostov, A. Fukuzaki, F. Konishi, “Network Shared Mechanical Design Class with Stanford: Lessons Learned”, ICeCE 2001, 2001 International Conference on eCommerce Engineering: New Challenges for Global Manufacturing in the 21st Century, Sept. 2001. Xi'an, P.R.China, (in press).

学会発表論文 Conference Presentations：

10. V. Kostov, S. Fukuda, H. Yanagisawa, “Towards Personalized Adaptive User Interfaces”, JSME Design & Systems, No.00-34, pp.181-184, Jan. 2001, Tskuba, Japan.

■ **Laohaburanakit, Kanokwan Katagiri Noi** ラオハブラナキット・カノックワン・カタギリ (ノイ) (筑波大学・博士
＜言語学＞：ケソンシティ・トリニティーカレッジ非常勤講師：1997 年度奨学生)

1. カノックワン・ラオハブラナキット「タイの日本語研究－日本語研究の現状」『国文学解釈と鑑賞』第 842 号,至文堂出版, (2001)
2. カノックワン・ラオハブラナキット「日本語とタイ語の疑問文文末形式の対照」『国文学解釈と鑑賞』第 842 号,至文堂出版, (2001)

■ **Lee Hyun-Young 李 炫瑛** (お茶の水女子大学・博士＜比較文化＞：韓国外国語大学校日本語学科非常勤講師：2001 年度奨学生)

1. 『菊酒付句』翻刻一書誌と解説一 (『国文』94号、お茶の水女子大学国語国文学会、2001/1)
2. 柳陰軒句空と加賀俳壇について一字野一煙との関係をめぐって一 (『連歌俳諧研究』第百号、2001/2)
3. 加賀俳人小杉一笑と芭蕉についての考察 (『2001 年学術大会論文発表集』韓国日語日文学会、2001/6)
4. 貞門時代の加賀俳壇についての一考察 (『2001 年学術大会論文発表集』韓国日本学会、2001/8)
5. 小杉一笑の俳歴 (『日本文学』VOL50・9月、日本文学協会編集・刊行、2001/9)
6. 談林時代の加賀俳諧についての一考察 (『亜細亜文化研究』第6輯、韓国環園大学校亜細亜文化研究所、2002/2)
7. 談林俳諧と加賀俳壇 (『人間文化論叢』第4巻、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科、2002/3)
8. 柳陰軒句空と宇野一煙の関係をめぐって (『檀国日本研究学会学術大会発表論文集』檀国日本研究学会、2002/3)

■ **Lee Young-Suk 李 英淑** (筑波大学・博士＜教育学＞：釜山大学校師範大学数学教育科非常勤講師：2001 年度奨学生)

1. Lee, Y. S. "A rationale for mathematical problem solving on a small group: Focusing on collaborative interaction. Research in Mathematics Education." (Journal of the Korea Society of Mathematical Education Series D), 5 (1), 77-85. (2001)
2. 李英淑「数学の授業におけるディスコースに関する研究動向」教育科学／数学教育, No. 500, 106-109. 東京：明治図書,(2001)
3. Yerushalmy, M., 垣花京子, 李英淑 Calculus Unlimited : 「代数・基礎解析・微積分のための探求環境. 数学科教育課程実現に必須の代数・解析領域ソフトウェアの開発実用化研究－中・高一貫ゆとりある探求活動による数学活用力育成のための教材・指導法の開発－ (課題番号 11558010)」平成 11 年度～平成 12 年度科学研究費補助金 (基盤研究(B)(2)) 研究成果報告書, 51-86,(2001)
4. 石塚学, 李英淑, 青山和裕「数学用携帯端末によるインターネット上での数学コミュニケーション環境の開発研究」第 34 回数学教育論文発表会論文集, 139-144, (2001)

■ **Li Enmin 李 恩民** (一橋大学・博士＜社会学＞：宇都宮大学国際学部外国人教師：1997 年度奨学生)

1. 単著：李恩民『転換期の中国・日本と台湾』2001/11, 御茶の水書房・東京, 全 339 頁
2. 共著：李恩民『「南水北調」をめぐる開発と環境』、藤田和子編『モンスーン・アジアの水と社会環境』所収, 2002/1, 世界思想社・京都
3. 論文：李恩民「從中日航空交渉看中国和平統一的外在因素」、劉進慶編『全球華僑華人推動中国和平統一大会新世紀東京大会論文集』所収, 2001/7, 全球華僑華人推動中国和平統一大会新世紀東京大会委員会刊・東京
4. 論文：李恩民「1970 年代における日台航空関係の変遷」2002/3, 宇都宮大学国際学部『研究論集』第 13 号, pp.37～57

■ **Li Ganzhe 李 鋼哲** (立教大学大学院＜経済学＞：財団法人東京財団研究員：1999 年度奨学生)

著書：

1. 平川均・石川幸一編著『新・東アジア経済論－グローバル化と模索する東アジア』(共著)、第 14 章 北東アジア経済協力の現状と 21 世紀の展望－図們江デルタ地域における国際開発協力、2001.4、ミネルヴァ書房
2. 王振鎖・李鋼哲編『東亞区域経済合作：中国と日本』(南開大学日本研究シリーズ) 2002.3 天津人民出版社
論文 (報告)：

3. 「北東アジアにおける人的資源開発と協力」(コメンテーターペーパー、2001.4)「第10回北東アジア経済フォーラム」(長春会議、同論文集所収)
4. 「国際化のなかの中国朝鮮族社会の変容と国際的ネットワークの形成」2001.12「第1回在日中国朝鮮族国際シンポジウム」での基調報告(同論文集に所収)
5. 「北東アジア経済協力における北朝鮮の対外開放戦略の位相」2001.11 新韓学会報告(同論文集所収)

■ **Liang Xingguo 梁 興国**(東京大学・博士<化学生命工学>:日本生物系産業技術研究推進機構派遣研究員/東京大学先端科学技術研究センター研究員:2001年度奨学生)

原著論文:

1. Asanuma, H.; Liang, X.G.; Yoshida, T.; Komiyama, M. 'Photocontrol of DNA Duplex Formation by Using Azobenzene-Bearing Oligonucleotides' CHEMBIOCHEM. 2001, 2, 39-44.
2. Liang, X.G.; Asanuma, H.; Komiyama, M. 'Phenylazonaphthalene as a Superb Photo-Regulator for DNA-Triplex Formation' Tetrahedron Lett. 2001, 42, 6723-6725.
3. Asanuma, H.; Takarada, T.; Yoshida, T.; Tamaru, D.; Liang, X.G.; Komiyama, M. 'Enantioselective Incorporation of Azobenzene into Oligodeoxyribonucleotide for Effective Photoregulation of Duplex Formation' Angew. Chem. Int. Ed. 2001, 40, 2671-2673.
4. Takarada, T.; Tamaru, D.; Liang, X.G.; Asanuma, H.; Komiyama, M. 'L-Threoninol as a Chiral Linker of Azobenzene for the Effective Photoregulation of DNA Triplex Formation' Chem. Lett., 2001, 732-733.
5. Asanuma, H.; Shirasuka, K.; Yoshida, T.; Takarada, T.; Liang, X.G.; Komiyama, M. 'Spiropyran as a Regulator of DNA Hybridization with Reversed Switching Mode to That of Azobenzene' Chem. Lett., 2001, 108-109.
6. Liang, X.G.; Asanuma, H.; Komiyama, M. 'Photoregulation of DNA Triplex Formation by Azobenzene' J. Am. Chem. Soc., 2002, 1877-1883.
7. Wang, D.F.; Wang, C.H.; Zhao, G.W.; Wei, Z.G.; Tao, Y.; and Liang, X.G. 'Composition, Characteristic and Activity of Rare Earth Element-Bound Polysaccharide from Tea' Biosci. Biotechnol. Biochem., 2001, 65 (9), 1987-1992.

学会発表論文:

8. 梁興国・浅沼浩之・小宮山真, 「核酸機能の光制御を目指した修飾オリゴヌクレオチドの設計[31]—三重鎖形成の制御能を向上させるためのアゾベンゼンの化学修飾」, 第50回高分子学会年次大会, 2001/5, 大阪
9. 梁興国・浅沼浩之・小宮山真 「核酸機能の光制御を目指した修飾オリゴヌクレオチドの設計[32]主鎖構造と二重鎖形成の光制御能の相関」, 第50回高分子学会年次大会, 2001/5, 大阪
10. 山澤哲・梁興国・東大院工・多比良和誠・浅沼浩之・小宮山真 「核酸機能の光制御を目指した修飾オリゴヌクレオチドの設計[30]アゾベンゼン導入による DNA Enzyme の光制御」, 第50回高分子学会年次大会, 2001/5, 大阪
11. 宝田徹・富永真・吉田高之・梁興国・浅沼浩之・小宮山真 「核酸機能の光制御を目指した修飾オリゴヌクレオチドの設計[33]—コンフィギュレーションが制御された機能性残基を有する光応答性 DNA」, 第50回高分子学会年次大会, 2001/5, 大阪
12. 梁興国・松永大次郎・劉明哲・浅沼浩之・小宮山 「真核酸機能の光制御を目指した修飾 DNA の設計 (1)-グリセリン酸リンカーによるアゾベンゼンの導入とその光制御能」, 第81回日本学会春季年会, 2002/3, 東京
13. 梁興国・松永大次郎・浅沼浩之・小宮山真 「核酸機能の光制御を目指した修飾 DNA の設計(2)—NA/DNA 二重鎖形成と解離の光制御」, 第81回日本学会春季年会, 2002/3, 東京
14. 梁興国・浅沼浩之・小宮山真 「機能の光制御を目指した修飾 DNA の設計(3)—フェニルアゾナフタレンを導入した修飾 DNA の合成とその光制御能」, 第81回日本学会春季年会, 2002/3, 東京
15. 田丸大介・山澤哲・梁興国・浅沼浩之・小宮山真 「遺伝子発現の光制御を目指した光応答性 DNA の設計—T7RNA ポリメラーゼによる転写反応の光制御」, 第81回日本学会春季年会, 2002/3, 東京
16. 劉明哲・田丸大介・梁興国・浅沼浩之・小宮山真 「遺伝子発現の光制御を目指した光応答性 DNA の設計—SP6RNA ポリメラーゼによる転写反応の光制御」, 第81回日本学会春季年会, 2002/3, 東京
17. 田島理恵・梁興国・高須昭嗣・坂本泰一・河合剛太・浅沼浩之・小宮山真 「アゾベンゼンを導入した DNA による光

- 制御機構の NMR による解明」, 第 16 回生体機能関連化学シンポジウム, 2001/9, 千葉
18. 田島理恵・宝田徹・梁興国・浅沼浩之・小宮山真「複数のアゾベンゼン導入による二重鎖形成の効率的な光制御」, 第 16 回生体機能関連化学シンポジウム, 2001/9, 千葉
 19. 田丸大介・山澤哲・梁興国・大国妙子・平尾一郎・横山茂之・浅沼浩之・小宮山真「アゾベンゼン導入 DNA を用いた RNA ポリメラーゼによる転写の光制御」, 第 16 回生体機能関連化学シンポジウム, 2001/9, 千葉
 20. 田島理恵・梁興国, 千葉工大工 高須昭嗣・坂本泰一・河合剛太, 東大先端研 浅沼 浩之・小宮山真「アゾベンゼンを導入した DNA 二重鎖の NMR による構造決定」, 第 50 回高分子学会年次大会, 2001/9, 東京
 21. 浅沼浩之・田島理恵・宝田徹・梁興国・小宮山真「トレオニノールを用いたアゾベンゼンの DNA へのエナンチオ選択的導入」, 第 50 回高分子学会年次大会, 2001/9, 東京

■ **Lim Chuan Tiong 林 泉忠** (東京大学・博士<国際政治> : 琉球大学法文学部国際関係論専任講師 : 2000 年度奨学生)

1. 林泉忠 「『香港人とは何か : 戦後における『香港共同体』の成立から見た新生アイデンティティの性格』『現代中国』第 74 号, 2000/9, 98-116 頁

■ **Lwin U Htay ルイン・ユ・ティ** (東京医科歯科大学・博士<公衆衛生学> : ヒュービット ジェノミクス (株) 研究開発部研究員 : 2001 年度奨学生)

原著論文 :

1. Are the associations between life-style related factors and plasma total homocysteine concentration different according to polymorphism of 5,10-methylenetetrahydrofolate reductase gene(C677T MTHFR)? A cross-sectional study in a Japanese rural population. Htay L, Yokoyama T, Tanaka H. Journal of Epidemiology, 12(2):2002

国際学会論文 :

2. Polymorphism of the C677T MTHFR, plasma total homocysteine, serum folate level and lifestyle factors in a Japanese rural population. Htay L, Yokoyama T, Tanaka H. The 5th International Conference on Preventive Cardiology and The 4th International Heart Health Conference, May 30, 2001 Osaka, Japan
3. Association of 5,10-Methylenetetrahydrofolate reductase gene(MTHFR), smoking habits, and serum folate with plasma total homocysteine in a Japanese rural population. Htay L, Yokoyama T, Tanaka H. The 3rd Asian-Pacific Congress of Epidemiology, September 4, 2001 Kita-kyushu, Japan
4. Association of angiotensin-converting enzyme gene polymorphism with stroke subtypes in a Japanese rural population. Kokubo Y, Chowdhury AH, Chen J, Htay L, Date C, Yokoyama T, Tanaka H. The 5th International Conference on Preventive Cardiology and The 4th International Heart Health Conference, May 30, 2001 Osaka, Japan
5. Twenty-year incidence of myocardial infarction was inversely associated with frequency of intake of vegetables but not with serum vitamin C concentration The Shibata Study. Yokoyama T, Date C, Kokubo Y, Yoshiike N, Chowdhury AH, Htay L, Saito K. The 5th International Conference on Preventive Cardiology and The 4th International Heart Health Conference, May 30, 2001 Osaka, Japan
6. CETP-Taq IB polymorphism is independently associated with plasma HDL-cholesterol levels in a Japanese rural population. Chen J, Kokubo Y, Yokoyama T, Saito K, Htay L, Tanaka H. The 5th International Conference on Preventive Cardiology and The 4th International Heart Health Conference, May 28, 2001 Osaka, Japan

国内学会論文 :

7. 血清ビタミンC濃度と病型別脳卒中罹患リスクーS市第2コホート, 横山徹爾、伊達ちぐさ、吉池信男松村康弘、齊藤京子、松下由実、陳建国、Htay Lwin、田中平三, 第12回日本疫学会学術総会, 2002/1/25, 東京

■ **Maquito, Ferdinand マキト、フェルディナンド** (東京大学・博士<経済学> : テンプル大学ジャパン客員講師 : 1995 年度奨学生)

1. 平川均・石川幸一編著「新・東アジア経済論ーグローバル化と模索する東アジア」(共著)、第13章日本の経済協力の理論と理念、2001.4、ミネルヴァ書房

■ **Molnar, Margit** モルナール・マルギット (慶應義塾大学大学院<経済学> : OECD 研究員 : 2000 年度奨学生)

1. "Analytical criteria for calibrating provisions for special and differential treatment across different beneficiaries", 2001. Working Party of the Trade Committee, OECD, TD/TC/WP(2001)27
2. "The development dimension of the Agreement on Trade-Related Intellectual Property Rights", 2001. with Evdokia Moise Working Party of the Trade Committee, OECD, TD/TC/WP(2001)37
3. "Promoting Competitive Markets", 2001. In OECD Economic Surveys: Ireland, 2001 edition pp. 66-74

■ **Mukhopadhyaya, Ranjana** ムコパディヤーヤ、ランジャンナ (東京大学大学院<宗教学宗教史> : 2002 年度奨学生)

1. 「法音寺と昭徳会:社会参加仏教の一例として」『東京大学宗教学年報』XVIII,東京大学宗教学研究室,2000
2. "The Brighter Society Movement of Rissho Kosei kai ? A New Application of the Bodhisattva Way." Asian Cultural Studies, No.27, Institute of Asian Cultural Studies, International Christian University, 2001
3. 「菩薩行実践としての社会活動への参加ー法音寺の事例から」『宗教研究』第60回日本宗教学会学術大会紀要特集,第75巻331号,2002/3

■ **Musikasinthorn, Prachya** ムシカシントーン・プラチャー(東京水産大学・博士<資源育成学> : カセサート大学水産自然史博物館学芸員兼講師 : 1999 年度奨学生)

1. Musikasinthorn, P. and Y. Taki. 2001. *Channa siamensis* (Gunther, 1861), a junior synonym of *Channa lucius* (Cuvier in Cuvier and Valenciennes, 1831). *Ichthyol. Res.* 48: 319-324.
2. Musikasinthorn, P. 2002. Record of striped bass, *Morone saxatilis* from the inner Tokyo Bay, Japan. *I.O.P. Diving News.* 13: 2-4.

■ **Naiwala Pathirannehelage, Chandrasiri** ナイワラ・パテランネヘラーゲ、チャンドラシリ (東京大学・博士<電子情報> : 東京大学大学院工学系研究科研究員 : 2000 年度奨学生)

1. Naiwala P. Chandrasiri, T. Naemura, H. Harashima: "Real Time Facial Expression Recognition System with Applications to Facial Animation in MPEG-4", *IEICE Trans. Inf. & Syst.*, E84-D, 8, pp. 1007 -- 1017 (2001.8)
2. Naiwala P. Chandrasiri, Takeshi Naemura, and Hiroshi Harashima: "Real Time Facial Expression Analysis with Applications to Facial Animation in MPEG-4," 5th World Multi-Conference on Systemics, Cybernetics and Informatics (SCI2001), pp. 244 -250 (2001.7)
3. 井澤克俊, N. P. Chandrasiri, 苗村 健, 原島 博: "顔印象から連想される物体の自動選出", *信学総大*, A15-2, (2002.3)

■ **Park Young June** 朴 栄濬 (東京大学大学院<国際関係論> : 2002 年度奨学生)

1. 「近代日本政治勢力の国家構想に関する研究 : 幕末期における岩倉具視の場合を中心に」, 訪日学術研究者論文集・歴史, 第3巻(日韓文化交流基金, 2000)
2. 「西欧軍事体制の受容と近代日本 : オランダの長崎海軍伝習とその影響を中心に」, 富士ゼロックス小林節太郎記念基金 2000 年度研究造成論文(富士ゼロックス, 2001)
3. 「徐在弼と日本軍事留学 : 19 世紀の朝鮮における近代軍事体制受容の試み」, ?容徳外『徐在弼とその時代』(ソウル・東亜日報社, 2002)
4. 「幕末期の海軍建設再訪 : 勝海舟の「船譜」再検討と幕末期「海軍革命」の仮説」, 「平成 14 年度軍事史学会年次大会研究発表」(2002/5/25, 関西学院大学)

■ **Qiao Xin** 喬 辛 (東京工業大学・博士<無機材料工学> : アイダホ州立大学ポスドク研究員 : 1996 年度奨学生)

1. X. Qiao, D. H. Hunter, Z. Clark, M. Hofhine, and S. L. Burkett, Preliminary Investigation of CMP Polishing Pads

- for Cu Filled Vias, • to be submitted to AVS 49th Int. Symp. Denver, 2002.
2. S. Burkett, D. Temple, B. Stoner, C. Craigie, X. Qiao, and G. McGuire, Processing Techniques for Vertical Interconnects, • Proc. Int. Semi. Device Research Symp., University of Maryland, pp. 403-406, December 2001.
 3. S. Burkett, D. Temple, B. Stoner, C. Craigie, X. Qiao, and G. McGuire, Processing Techniques for 3-D Integration Techniques, • Proc. Mexican Vacuum Society Conf., Mazatlan, Mexico, 2001.
 4. R.M.C. Clemmer, S. F. Corbin and X. Qiao, • Influence of Nickel Distribution on the Processing and Properties of Porous Metal/Ceramic Composite Fuel Cells, • Proc. of 10th Int. Symp. Processing and Fabrication of Advanced Materials, ASM International, Nov. 2001.
 5. S.F. Corbin and X. Qiao, Development of Solid Oxide Fuel Cell Electrodes Using Metal Coated Pore Forming Agents, • submitted to J. Am. Ceram. Soc., Jan, 2002.
 6. S. F. Corbin, J. Lee and X. Qiao • Influence of Green Formulation and Pyrolyzable Particulates on the Porous Microstructure and Sintering Characteristics of Tape Cast Ceramics, • J. Am. Ceram. Soc, Vol. 84, No.1, pp. 41-47, 2001.
 7. X. Qiao and S. F. Corbin, Development of Transient Liquid Phase (LTTL) Sn-Bi Solder Pastes, • Materials Science & Engineering A 283, pp. 38-45, 2000.

■ **Qi Jin Feng 奇 錦峰** (東京医科歯科大学<薬理学> : 2001 年度奨学生)

1. Simultaneous HPLC determination of acetaminophen and four of its major metabolites in small volume biologic fluids: acidic deproteination is not suitable for the quantitation of acetaminophen, Jin Feng QI, Satoru MINESHITA, J. Pharm. Biomed. Anal.
2. 幽門保存胃切除術後の消化管運動および胃排出能に関する実験的検討、川崎成郎、中田浩二、奇 錦峰、羽生信義、峰下 哲、中尾誠利、J Smooth Muscle Research 5 (3):81~92. Dec. 2001
学会発表論文 :
3. Lansoprazole による Acetaminophen の血中濃度上昇の機序について、奇 錦峰、峰下 哲、第 22 回日本臨床薬理学会年會, 2001.12.14~15, 横浜 Jpn J Clin Pharmacol Ther (印刷中)
4. 幽門保存胃切除後の胃排出能に関する検討、川崎成郎、中田浩二、奇 錦峰、羽生信義、中尾誠利、古川良幸、向井英晴、山本 尚、青木照明、山下 廣、峰下 哲、第 56 回日本消火器外科学会総会, 2001.7.25~27

■ **Shi Jianming 施 建明** (筑波大学・博士<社会工学> : 東京理科大学経営学部経営学科助手 : 1995 年度奨学生)

1. J. Shi: "A combined algorithm for fractional programming", Annals of Operations Research 103 (2001) 135-147
2. J.Dong, J.Shi, S.Wang and Y.Xue, "A trust region algorithm for solving optimization problem with equality constraints", Chinese Journal of Management Science 9 (6) (2001) 26-30

■ **Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko スリ・スマンティヨ、ヨサファット・テトオコ** (千葉大学・博士<人工システム科学> : 千葉大学電子情報基盤技術研究センター講師 : 2001 年度奨学生)

原著論文 :

1. J. Tetuko S.S., R. Tateishi, K. Wikantika, "A method to estimate tree trunk diameter and its application to discriminate Indonesian tropical forest characteristics," International Journal of Remote Sensing, vol. 22, no.1, pp.177-183, January 2001 (London: Taylor and Francis)
2. J. Tetuko S.S., Ryutaro Tateishi, N. Takeuchi, "Estimation of burnt coal seam thickness in central Borneo using a JERS-1 SAR image," International Journal of Remote Sensing, 2002 (London: Taylor and Francis) (in press)
3. J. Tetuko S.S., R. Tateishi, 'Simulation of scattered waves from tropical tree trunks and its application,' Journal of Japan Society of Photogrammetry and Remote Sensing, Vol. 40, No.6, pp.4-14, 2001 (Tokyo: JSPRS)
4. J. Tetuko S.S., R. Tateishi, 'A Method to Analyse Scattered Waves from Pine Trunk and Its Application to Estimate Trunk Diameter using JERS-1 SAR Data', Asian Journal of Geoinformatics, September 2002

(Pathumthani: AARS) (Invited paper)

5. J. Tetuko S.S., R. Tateishi, N. Takeuchi, "A method to analyse scattered waves from rough burnt coal seam and its application to estimate thickness of fire scars in central Borneo using L-Band SAR data," Asian Journal of Geoinformatics, September 2002 (Pathumthani: AARS) (Invited paper)
6. J. Tetuko S.S., R. Tateishi, N. Takeuchi, 'A physical method to analyse scattered waves from burnt coal seam and its application to estimate thickness of fire scars in central Borneo using JERS-1 SAR data,' International Journal of Remote Sensing, 2002 (London: Taylor and Francis) (In press)
7. Tsolmon Renchin, R. Tateishi, J. Tetuko S.S. 'A method to retrieve biomass volume using JERS-1 SAR data,' The International Journal of Remote Sensing, 2002 (London: Taylor and Francis) (In press)

国際会議論文 :

8. J. Tetuko S.S., R. Tateishi, N. Takeuchi, 'Analysis of scattered waves on burnt coal pit and its application to estimate fire scars thickness in central Borneo using JERS-1 SAR image,' CEOS WGCV SAR Workshop 2001 NASDA-ESA, 2-5 April 2001 (Tokyo: NASDA)
9. J. Tetuko S.S., R. Tateishi, N. Takeuchi, 'A method to analyse scattered waves from burnt coal seam and its application to estimate burnt coal seam thickness in central Borneo using JERS-1 SAR data,' The 22nd Asian Conference on Remote Sensing (ACRS 2001), 5-9 November 2001 (Singapore: ACRS)
10. J. Tetuko S.S., R. Tateishi, 'A method to analyse scattered waves from pine trunk and its application to estimate trunk diameter using JERS-1 SAR data,' The 22nd Asian Conference on Remote Sensing (ACRS 2001), 5-9 November 2001 (Singapore: ACRS)など (19 報)

■ **Trede, Melanie Maria** トレーデ、メラニー・マリア (ハイデルベルク大学・博士<美術史> : ニューヨーク大学美術史研究所助教授 : 1996 年度奨学生)

1. "Kurashishizumu to kanon keisei: 17seiki Nihon kaiga ni tsuite no bijutsushi gensetsu ('Classicism' and Canon Formation: Art Historical Discourse on Seventeenth Century Japanese Painting)", Bijutsu Forum 21 no. 5 (2001), 65-69
2. "Mönche, Monster, Schöne Damen: Japanische Malerei, Buch und Holzschnittkunst des 16. bis 18. Jahrhunderts", review article in Ostasiatische Zeitschrift N.S. 1 (Spring 2001): 53-62
3. [Associate Editor.] Impressions. The Journal of the Ukiyo-e Society of America, Inc., vol. 22 (Fall 2000)

■ **Wang Xi** 王 溪 (東京大学大学院<電子情報工学> : 2002 年度奨学生)

国際会議論文 :

1. X. Wang, H. Morikawa, T. Aoyama: "A Deflection Routing Protocol for Optical Bursts in WDM Networks" Proc. Fifth Optoelectronics and Communications Conference (OECC 2000), Makuhari, Japan, pp. 94-95, Jul. 2000
2. X. Wang, H. Morikawa, T. Aoyama: "Burst optical deflection routing protocol for wavelength routing WDM networks" Proc. SPIE/IEEE OPTICOMM 2000, pp.257-266, Dallas, TX, USA, Oct. 2000
3. X. Wang, H. Morikawa, T. Aoyama: "Deflection routing protocol for burst switching WDM mesh networks" Proc. SPIE/IEEE Terabit Optical Networking: Architecture, Control, and Management Issues, pp. 242-252, Boston, USA, Nov. 2000

国内学会論文 :

4. 王, 森川, 青山:"A Distributed Wavelength Assignment Algorithm for Burst Optical Networks" PNI 研究会 2000-8, pp.56-61 May 2000
5. 王, 森川, 青山 : "バーストスイッチング WDM オプティカルネットワークにおける分散的波長割当手法" SSE 研究会 2000-37, pp.37-42 May 2000
6. 王, 森川, 青山 : "WDM オプティカルネットワークにおけるバーストオプティカルディフ レクションルーティングプロトコル" マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2000)シンポジウム, pp.499-504 Jun. 2000

7. 橋口, 王, 森川, 青山: "バーストオペティカルネットワークにおける CoS 指向波長割当手法" SSE 研究会 2000-294/IN 研究会 2000-250, pp.419-426 Mar. 2001
8. 橋口, 王, 森川, 青山: "バーストオペティカルネットワークにおける CoS 指向波長割当手法" 電子情報通信学会総合大会, B-10-107 Mar. 2001
9. 齊藤, 王, 森川, 青山: "動的再送閾値を用いたパケット順序逆転に強い TCP の検討" 電子情報通信学会総合大会, B-7-197 Mar. 2001

■ **Williams, Duncan** ウィリアムス、ダンカン (ハーバード大学・博士<宗教学>: トリニティーカレッジ助教授: 1997 年度奨学生)

Edited/Co-edited Volumes :

1. Local Religion in Tokugawa History. Nagoya: Nanzan Institute of Religion and Culture, 2001. 237 pp. (Special Issue of the Japanese Journal of Religious Studies) [Co-edited with Barbara Ambros]

Translated Books :

2. The Grand Challenge. Tokyo: Samboh shuppan, 2001. 156 pp. [Translation of "Gurando charenji" by Takahashi Keiko]

Journal Articles :

3. "The Intersection of the Local and the Trans-local at a Sacred Site: The Case of Osorezan in Tokugawa Japan." Japanese Journal of Religious Studies (Vol. 28, Nos. 3-4, 2001): 399-440. [Co-authored with Fumiko Miyazaki]

Book Reviews :

4. Michael Downing's "Shoes Outside the Door: Desire, Devotion, and Excess at San Francisco Zen Center." Tricycle: The Buddhist Review, (Vol. 11, No. 2, Winter 2001): 80-81.
5. Richard Seager's "Buddhism in America." Numen: Journal of the International Association for the History of Religions (Vol. 48, 2001): 374-375.
6. Helen Baroni's "Obaku Zen: The Emergence of the Third Sect of Zen in Tokugawa Japan." Japanese Journal of Religious Studies (Vol. 28, Nos. 1-2, Spring 2001): 174-178.

■ **Xu Xiaoyuan** 許 晓原 (東京大学・博士<農学生命科学>: テネシー大学薬学部研究員: 1998 年度奨学生)

1. Xiaoyuan Xu, Hiroshi Kadokura, Akira Okubo, Katsuhiko Kitamoto, and Sunao Yamazaki, (2001) Cloning and Sequencing of a Gene Encoding a novel Salt stress-induced Membrane Protein in *Rhodobacter sphaeroides* f. sp. *denitrificans* IL106. Applied Microbiology and Biotechnology. 56:442-447
2. Jinghua Zhang, Xiaoyuan Xu, Naoki Nishimura, Mitsuru Abo, Akira Okubo, and Sunao Yamazaki, (2001) Low pH Capillary Electrophoresis Suitable for Studies on Biosynthesis of Compatible Solutes in Bacteria, Marine Algae and Higher Plants. Proceedings of IUPAC International congress on Analytical sciences 2001 (i1315-i1318)
3. Xiaoyuan Xu, Chika Matsuo, Mitsuru Abo, Akira Okubo, and Sunao Yamazaki, (2001) Identification of Osmotic Regulators in Halophylic Photosynthetic Bacteria by NMR and Capillary Electrophoresis. Proceedings of IUPAC International congress on Analytical sciences 2001 (i1601-i1604.)
4. Ruying Chang, Xiaoyuan Xu and Ming D. Li. Molecular cloning, mapping and characterization of a novel mouse RING finger gene, Mrf1. Gene (in press)

■ **Yu Xiaofei** 于 晓飛 (千葉大学大学院<社会文化科学>: 2002 年度奨学生)

学会論文:

1. 于晓飛: 「シャマン宗教とホジエン族のイマカン」、上海社会科学研究院『当代宗教研究』、pp31-35、2001/8 第 3 期
2. 黄任遠・于晓飛共著: 「神謡と神歌—中国ホジエン族と日本アイヌ民間文化の比較」、『北方民族』、pp98-103、2001/8 研究報告、紀要等:
3. 「ホジエン族の伝承文学イマカン」『ユーラシア諸民族の叙事詩研究(1) テキストの梗概と解説』pp123-145、2001/4

著書：

4. 『ホジエン族とアイヌ族の文化比較研究』 于曉飛 . 黄任遠共著、アムル川流域少数民族文化研究叢書、菜霜臬繁耐竈井芙、2001 定 8 坵

■ **Zhu Tingyao 朱 庭耀** (東京大学・博士<船舶海洋工学> : (財) 日本海事協会技術研究所研究員 : 1996 年度奨学生)

1. 三宅竜二、朱 庭耀、影本 浩 : 「VLCC 及びコンテナ船の大波高中における運動・波浪荷重に関する実験的研究」, 日本造船学会論文集, 第 190 号, pp. 75-86, 2001
2. 三宅竜二、朱 庭耀、影本 浩 : 「ランキンソース法による一般商船における波浪荷重推定について」, 日本造船学会論文集, 第 190 号, pp. 107-119, 2001
3. 松波亮樹、熊野 厚、朱 庭耀 他 : 「甲板打ち込みを伴う大波高中の肥大船に働く波浪荷重に関する研究 (第 1 報 模型水槽実験)」, 日本造船学会論文集, 第 190 号, pp. 87-105, 2001
4. 朱 庭耀、重見利幸 : 「ダブルハルタンカーの強度評価に用いる設計荷重について」, 日本海事協会会誌, 第 257 号, pp. 22-33, 2001
5. Zhu Tingyao: “2D Linear Comparative Works on Wave Induced Ship Motions and Loads in Regular Waves”, the Proceeding of the 1st Meeting of Joint Research Project in Wave Loads of the Classification Societies in Asia District, pp.7-42, Taejon, Korea, August 2001
6. Zhu Tingyao: “2D Nonlinear Comparative Works on Wave Induced Longitudinal Ship Motions and Vertical Bending Moment in Regular Waves”, the Proceeding of the 1st Meeting of Joint Research Project in Wave Loads of the Classification Societies in Asia District, pp. 75-85, Taejon, Korea, August, 2001
7. Zhu Tingyao: “Design Loads for Direct Strength Calculation of Double Hull Tankers”, the Proceeding of the Rule, Regulation, Container Ship/Tanker Symposium, Shanghai, China, October, 2001
8. Tingyao Zhu: “Outline of the Guidelines for Direct Strength Analysis of Ships”, a 3 hours’ special Lecture presented in following places respectively
 - ①Jiangnan Shipyard (Group) Co., Ltd., Shanghai, China, 15th October 2001
 - ②New Century Shipbuilding Co., Ltd., Jingjiang, Jiangsu, China, 16th October 2001
 - ③Nantong COSCO Kawazaki Heavy Industry Ship Engineering Co., Ltd., Nantong, Jiangsu, China, 16th October, 2001
 - ④Xingang Shipyard, China Shipbuilding Industry Corp., Tianjin, China, 17th October 2001
 - ⑤Dalian Shipyard, China Shipbuilding Industry Corp., Dalian, China, 19th October 2001
 - ⑥Dalian New Shipbuilding Heavy Industry Co., Ltd., Dalian, China, 19th October 2001